

製品名: Cerebral 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08683**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	51kDa

抗原情報

遺伝子名	RRP8
別名	RRP8; KIAA0409; NML; hucep-1; Ribosomal RNA-processing protein 8; Cerebral protein 1; Nucleomethylin
遺伝子 ID	23378.0
SwissProt ID	O43159
免疫原	抗血清はヒト HUCE1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

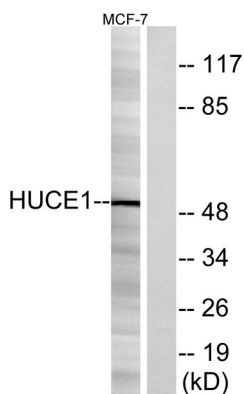
背景

RRP8 (リボソーム RNA プロセッシング 8、メチルトランスフェラーゼ、ホモログ (酵母)) はタンパク質コード遺伝子です。RRP8

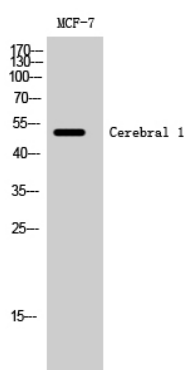
に関連する疾患には、ポーエン・コンラディ症候群やリンパ系癌などがあります。関連パスウェイには、遺伝子発現と活性化 PKN1 があり、AR (アンドロゲン受容体) 調節遺伝子 KLK2 および KLK3 の転写を刺激します。この遺伝子に関連する GO アノテーションには、ポリ (A) RNA 結合とメチル化ヒストン結合があります。eNoSC (エネルギー依存性核小体サイレンシング) 複合体の必須成分は、細胞内エネルギー状態に応じて rDNA のサイレンシングを媒介し、ヒストン修飾酵素をリクルートすることによって作用します。eNoSC 複合体は細胞のエネルギー状態を感知することができます。グルコース飢餓により、NAD (+) /NADP (+) 比の上昇により SIRT1 が活性化され、ヒストン H3 の脱アセチル化が起こり、続いて H3 がジメチル化されます。SUV39H1 による Lys-9 (H3K9me2) の切断と、rDNA 遺伝子座におけるサイレントクロマチンの形成。複合体において、RRP8 は H3K9me2 に結合し、おそらくメルトランスフェラーゼとして作用する。しかし、その基質は不明である。rRNA プロセッシング、RNA プロセッシング、rRNA 代謝プロセス、リボ核タンパク質複合体生成、ncRNA プロセッシング、ncRNA 代謝プロセス、リボソーム生成

研究分野

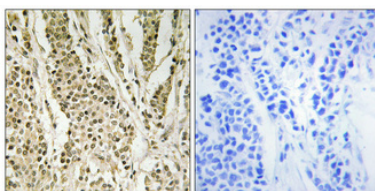
画像データ



HUCE1 抗体を用いた MCF-7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Cerebral 1 ポリクローナル抗体を使用した MCF-7 細胞のウェスタン ブロット分析。



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高压高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。